

# 第25回西日本事例発表オンライン研修会 エントリーシート

法人名	株式会社 生活科学運営	施設名	シニアハウス新町
発表タイトル	・ 運営損益の改善 ～新町アローンの取り組みをご紹介します～		
研究の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営損益の改善。</li> <li>・ 働き方を見直す。</li> </ul>		
発表の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 働き方を見直して、1ヶ月総労働時間を20時間減らすことを目的にした。適正な労働時間にしたことで、目標を達成し、運営損益を改善することが出来た。</li> </ul>		
研究方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 賃金だと一人ひとり金額が違うので比較出来ない為、過去の労働時間と現在の労働時間で比較した。</li> </ul>		
成果・結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月平均28時間の削減に成功。</li> <li>【2019年下期総労働時間：10月562時間、11月576時間、12月684時間、1月647時間、2月618時間、3月712時間】</li> <li>【2020年上期総労働時間：4月573時間、5月506時間、6月498時間、7月510時間、8月506時間、9月531時間】</li> </ul>		
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当直者だけでなく、日勤勤務も一人体制にしたことで、総労働時間を削減できた。</li> </ul>		
アピールポイント 伝えたいこと 他のホーム・取組みと比較した 優位性など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日勤勤務を一人体制でこなすための工夫がアピールポイントです。</li> <li>事務所を離れる時、緊急時等、ルールを決めてスタッフ全員で周知し取り組んでいます。</li> </ul>		